

大鹿村中央構造線博物館たより 170号



2023年7月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

博物館30周年記念イベント「博物館設立当時を振り返って」開催しました！

6月10日(土)に、大鹿村中央構造線博物館30周年記念イベント「博物館設立当時を振り返って」を開催しました。村内外から50人弱の方にお越しいただきました。

第一部は、ろくべん館ホールにて、当館創立時に監修いただいた松島信幸先生の講演の予定でしたが、松島先生体調不良のため、河本学芸員が、松島先生からお預かりした資料を基にお話しする形となりました。また、教育委員会事務局の北村さんから、大鹿村中央構造線博物館誕生までの経過についてお話がありました。第二部では、博物館に移動して、河本学芸員による岩石園と展示室の展示案内がありました。

松島先生が来られなくなってしまったことは、大変残念でしたが、教育委員会北村さんのお話、河本学芸員のお話から、松島先生の提言に沿って現地・現物主義の博物館が出来上がっていく過程がご理解いただけたのではないかと思います。第二部の河本学芸員による岩石園と展示室の展示案内も、参加者の皆さんからの質問が飛び交い、意義のある時間となったように思います。反省点としましては、第一部が大幅延長となってしまった結果、第二部に参加できなくなってしまった方もいたようで、申し訳ありませんでした。

11月頃にも、記念イベント第二弾を開催予定です。詳細決まり次第お知らせいたしますので、お時間ある方は、どうぞご参加ください。(宮崎)



写真1 第一部・講演会の様子



写真2 第二部・岩石園展示案内の様子

安康露頭は土砂に覆われてしまいました！

大鹿村では6月2日から3日朝方にかけて大雨が降り、安康露頭近くの国土交通省上野々観測所では、連続雨量276mm、最大1時間雨量46mmを記録しました。3日夕方に安康露頭の様子を確認しに行ったところ、青木川が増水し、安康露頭の崖は土砂に埋まり、川がその上を流れている状態でした。5日にもう一度見に行くと、青木川の流れている高さは、大雨の前と同程度に戻ったようでしたが、肝心の露頭表面は増水時に堆積した土砂に覆われたままになってしまっていました。露頭の対岸にも、増水時に堆積した土砂が大量に残っており、崩れやすく危険です。当面の間は、現地での見学はお控えください。(宮崎)



写真3 土砂に覆われてしまった安康露頭
(2023年6月5日撮影)